

研究タイトル：

## 日本人による英語動詞の習得に関する研究



氏名：	勝藤和子／KATSUFUJI Kazuko	E-mail	k-katsu@anan-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	M.A. in ESL

所属学会・協会： 全国英語教育学会、四国英語教育学会

キーワード： 第二言語習得研究、心理動詞、与格動詞

技術相談  
提供可能技術：

- ・ 第二言語習得
- ・ 英語の統語構造
- ・

### 研究内容： 英語動詞の習得環境としての教科書分析と学習者の中間言語について

日本人による英語の第二言語習得が私の研究の主題であり、とりわけ「英語動詞の習得」を中心に研究を深めてきました。特に近年は、教科書と学習者コーパスを用いて、英語動詞の頻度や心理動詞の教科書における統語環境の研究に取り組んでいます。30冊の高等学校用教科書からなる24万語のコーパスを構築し、英語動詞の理論的分類に基づき発生頻度を調査しました。その結果、動詞群によっては提示頻度が不十分である点が明らかになりました。教科書は学習者の最も身近で重要なインプット源であり、動詞と文の関係の学習を保証するためには、教科書における動詞の多様な統語環境を伴う例文増強が必要と思われます。また、心理動詞群の頻度には特異な傾向が見られることから、教科書コーパスや学習者コーパスを用いて心理動詞の4つの派生形を調査し、統語環境や学習者の使用頻度に偏りがある点も明らかになりました。上記の研究以前の中心テーマは、与格交替文と情報構造との関係の習得の研究で、日本人と英語母語話者から文法性判断と誘出法を用いてデータを収集し、有標性差異仮説に基づき与格交替文習得で日本人学習者が感じる難しさは、有標性差異仮説を用いて予測や説明できる可能性を示しました。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	